

紙 碑

被爆老人のあかし



広島原爆養護ホーム

紙 碑

—被爆老人のあかし—

第 二 集

広島原爆養護ホーム

聯 輯

— 丁巳年（即八五）聯輯 —

集 二 第

△ 一 本 籍 藝 數 風 邑 太

ごあいさつ

昭和五十六年七月、広島原爆養護ホームの十周年を記念いたしまして、『紙碑』を発刊いたしました。各方面から温かいご支援と、ご鞭撻を頂きまして感謝申しております。

とりわけ、全国からご慰問を頂いております諸学校の、平和教育の一助として、いささか貢献できましたようで、まことに望外の喜びと存じます。

このたび、開設十五周年の記念事業につきましては、入所者のかねてからのご要望もございまして、被爆四十周年の節目としても、ふさわしいのではなからうかということで、『紙碑』第二集を刊行することとなりました。

第一集の体験者も、高齢化に伴いまして、半数の方々が幽冥境を異にいたされ、文字通り紙碑となり、貴重な遺言となりました。

全員が被爆者という、他に例をみない、特殊な集団でありますので、このたびは直接被爆者だけではなく、肉親の安否や遺骨を求めて、残留放射能の中を徘徊されました入市者の方にも、ご寄稿願うこととなりました。

辛うじて九死に一生をえられた方々が、敗戦による痛手に加えて、いつ発病するかわから

ない放射能の後遺症に、つねに脅えながら、血の惨む三重苦にしいたげられ、宿命に泣かされた生活を余儀なくされた、悲痛の生活史を、後世に伝えて頂き、二度と被爆者を作らない決意を披瀝して頂くこととなりました。

幸い、大多数のご協力を頂き、第一集に劣らぬ内容となりました、尊い人生を狂わしめた被災の実相を継承するにふさわしい、珠玉の貴重な体験告白で、被爆四十周年のかけがえない遺言となり、平和教育にも寄与しうるであります。

第二集の編さんに当りまして、関係者のご協力に深い敬意を捧げますとともに、職員のたゆまざるご尽力に心から感謝申しあげます。

志 水 清

(広島原爆養護ホーム所長)

目

次

ごあいさつ	志水清	1
むつみ園一般養護		
焼跡に人影なし	大下博美	1
被爆体験	岩本滋	4
朝食中被爆	松村寿栄	6
動転・余裕なし	藤井綾子	8
夫の遺体は見つかりません	久保節子	9
死体の山	中村計秋	12
妻と赤子の骨を抱いて	河合愛一	17
青白い光線	戸津川雅人	22
ホームで落ち着いた日々	松本一之	27
今日一日が幸せ	沖野サツキ	29
人に言ったことも無い話	河原ヒナヨ	32
繰り返した入退院	宇野克己	36
被爆体験	久保田アヤメ	38

お母さん”と叫ぶ声……………	惣持	不痴子……………	41
息子の遺体は見つからず……………	花園	コイシ……………	44
すすのような雨……………	木村	文子……………	46
水を飲ませてあげたかった……………	弘中	マサ子……………	48
町内全壊……………	原岡	勇三……………	51
日雇いをして娘を育てる……………	工西	チエコ……………	53
家屋全壊……………	矢野	喜代子……………	54
右手一本で這い出る……………	岡山	里市……………	60
何とも哀れな姿……………	上田	澄子……………	63
仏様の前で合掌の日々……………	沖中	カツ子……………	66
広大白菊会に入会……………	岩本	ハツミ……………	67
妻を白血病で失う……………	大滝	三郎……………	70
死にたいばかりでした……………	中井	愛子……………	71
平和運動を続けたい……………	吉田	数雄……………	73
それは哀れでした……………	川西	寅枝……………	75
恐ろしさに震える……………	小松	シズエ……………	77
健康管理に留意……………	高木	平八郎……………	81
真赤な血……………	宮川	雪子……………	83

河に浮く死体	住田唯雄	85
鎮魂の祈り・生のあかし	香谷トシエ	87
ノーマア広島	藤原金子	91
青い光	赤崎フサ子	93
再会	森本シエノ	96
職員全員が爆死	梶下力男	98
被爆	中村ナツヨ	100
被爆者援護法を	佐々木一人	102
一枚のズボン	佐西マツ	105
原爆の夫を看病して	前田えつの	107
やりきれない淋しさ	熊崎満枝	114

むつみ園第一特別養護

原爆症と闘いながら女手一つで子供を育てて	兼安キミヨ	119
里帰りの娘と孫を原爆に奪われて	堀谷ヨシコ	121
瓦礫の山に呆然と立ちすくむ	天津キノ	124
家の下敷、夢中で這い出して	中川ツ子	127
身体中ガラスの破片で負傷して	西岡アキノ	129

二度と原爆は嫌です……………	天野可寿枝……………	132
「助けてください」と叫んだ女子事務員を助けることができて……………	二宮千歳……………	135
この世の地獄を目のあたりにして……………	栗原弘武……………	138
原爆で夫を奪われ女手一つで子供を育てて……………	橋本ヒフミ……………	141
やすらぎ園第二特別養護		

被爆前後の私の人生……………	高本アイ……………	145
被爆後のくらし……………	内藤ミサヲ……………	148
被爆後の私……………	川畑ユキヨ……………	150
最愛の娘と夫を失って……………	松本ハルミ……………	152
被爆後の苦しい生活……………	村井ハルコ……………	155
『紙碑・被爆老人のあかし』取材者一覧		

(表紙写真 むつみ園屋上より撮影)

紙碑・被爆老人のあかし 第二集

昭和六十年 五月二十日 印刷
昭和六十年 五月二十五日 発行

編集兼
発行者

財団法人 広島原爆被爆者援護事業団
広島市中区舟入幸町十四番十一号

西日本印刷株式会社

広島市安佐南区長束一丁目一番十八号

